

美術館学芸員が語る！

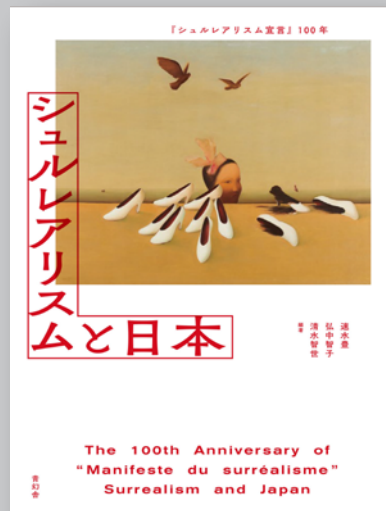
トークイベント開催！
3月8日(金) 19:00～

100年前のモダニズム パリー東京



モダン・タイムス・イン・パリ1925
機械時代のアートとデザイン
×
『シュルレアリスム宣言』100年
シュルレアリスムと日本

刊行記念



現在開催中の2つの展覧会、「モダン・タイムス・イン・パリ 1925 ー機械時代のアートとデザイン」展(ポーラ美術館)と「『シュルレアリスム宣言』100年 シュルレアリスムと日本」展(板橋区立美術館 ※4月27日(土)より三重県立美術館に巡回)には、テーマとなる時代や出品作家など共通点が多くあります。

それぞれの展覧会の担当学芸員が、展覧会に出品されている作品の背景となる100年前のパリ、そして東京を中心としたモダニズム美術について語ります。さらに、展覧会の企画や展示作品の選定、作品の借り出し方法など、普段は聞けない展覧会の裏話までをわいわい語り尽くすトークです。どうぞ、お楽しみに！



速水 豊(三重県立美術館 館長)

専門は20世紀美術史。主な担当展覧会に「美術館の夢」(2002年)、「昭和モダン・絵画と文学」(2013年)、「ショック・オブ・ダリ展」(2021年)など



弘中 智子(板橋区立美術館 学芸員)

専門は日本近代美術史。主な担当展覧会に「新人画会展」(2008年)、「福沢一郎絵画研究所展」(2010年)、「さまよえる絵筆ー東京・京都戦時下の前衛画家たち展」(2021年)など



東海林 洋(ポーラ美術館 学芸員)

専門は西洋近現代美術史。主な担当展覧会に「ルドン、ひらかれた夢ー幻想の世紀末から現代へ」(2018年)、「シュルレアリスムと絵画ーダリ、エルンストと日本の「シュール」」(2019-2020年)、「ピカソ 青の時代を超えて」(2022-2023年)など



山崎 菜未(ポーラ美術館 学芸員)

専門は日本近代美術史。主な担当展覧会に「モダン美人誕生ー岡田三郎助と近代のよそおい」(2018-2019年)、「Connectionsー海を越える憧れ、日本とフランスの150年」(2020-2021年)など

関連展覧会

「モダン・タイムス・イン・パリ 1925ー機械時代のアートとデザイン」展
ポーラ美術館 開催中～5月19日(日)

「『シュルレアリスム宣言』100年
シュルレアリスムと日本」展
板橋区立美術館 3月2日(土)～4月14日(日)
三重県立美術館 4月27日(土)～6月30日(日)

開催日時:2024年3月8日(金) 19:00～(開場18:30)

開催場所:東京堂書店 神田神保町店6階 東京堂ホール

参加費:1,500円(+税)

予約方法:東京堂書店ホームページの予約フォームにて



青幻舎

SEIGENSHA ART PUBLISHING